



～ 普段見られない工事の様子、詳しくお見せします ～

平成 26 年 10 月 31 日
国土交通省中部地方整備局
四日市港湾事務所

櫓(やぐら)の上から「旬な現場」を見学

～津市栗真町屋工区の海岸堤防改良工事現場～

1. 概要 :

現在整備を進めている津地区栗真町屋工区に、工事現場を見渡すことができる櫓(やぐら)が設置されました。櫓は高さ5.2m、幅9m×5mのサイズで、一度に約20人が登ることが可能です。

下記日程の地元自治会(栗真町屋自治会)現場見学会より、この櫓を活用していきます。

なお、見学会では地盤改良工事の様子や、模型を使用した液状化実験をご覧いただく予定です。

2. 日時 : 平成 26 年 11 月 6 日(木) 9:00 ～ 10:30 (雨天延期)

3. 場所 : 津地区栗真町屋工区 当事務所工事現場 (三重大学グラウンド横周辺)
集合場所: あおみ建設現場事務所(下記【現地集合場所】をご覧ください。)

4. 解禁・取材制限 : なし。取材にお越しいただける場合は、下記問い合わせ先までご連絡願います。

5. 配布先 : 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、三重県政記者クラブ、港湾新聞、
港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

6. 問い合わせ先 : 国土交通省 中部地方整備局 四日市港湾事務所
赤石 TEL 059-351-1357

【現地集合場所】

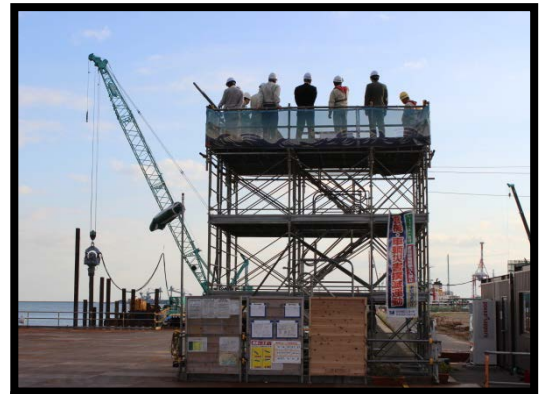




【イメージ図】



【地盤改良工のイメージ】



【槽(やぐら)からの見学イメージ】



【模型実験装置】

台が振動することで、水槽の中に地震発生後の状況を作りだします。

<振動前>



<振動後>



【津松阪港 海岸保全施設整備事業】

津松阪港海岸は、昭和28年に来襲した台風13号、さらには未曾有の災害をもたらした伊勢湾台風により壊滅的な被害を被り、昭和28年から38年にかけて災害復旧事業として海岸堤防が整備されました。その後、半世紀が経過し海岸堤防の老朽化が著しいことから、液状化対策等を含めた抜本的な高潮対策として整備が必要となりました。

四日市港湾事務所では平成4年度から堤防の改良に着手し、老朽化が著しい松阪地区・三雲地区・香良洲地区・津地区(贄崎工区)の約11kmについて順次事業を進め、平成23年度までに完了したところです。

平成23年度からは新たに津地区(栗真町屋、阿漕浦・御殿場)が新規事業として採択されたことから、延長約5.5km(栗真町屋2km、阿漕浦・御殿場3.5km)について堤防改良工事を実施しています。